

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【公表番号】特表2012-523913(P2012-523913A)

【公表日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2012-506105(P2012-506105)

【国際特許分類】

A 61 C 7/12 (2006.01)

A 61 K 6/00 (2006.01)

【F I】

A 61 C 7/00 A

A 61 K 6/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上顎歯列弓及び下顎歯列弓の相対位置を移動するための口腔内矯正モジュールであって、

外側端部を有する第1の部材と、

前記第1の部材を歯列矯正装具と接続するための、前記第1の部材の前記外側端部に連結されるコネクタと、

前記第1の部材に接続され、基準軸に沿った方向に前記第1の部材に対して移動可能な第2の部材であって、前記第1の部材の前記外側端部から離れた外側端部を含む、第2の部材と、

前記第2の部材の前記外側端部に接続されたリンクであって、前記リンクは、前記基準軸に対して概ね垂直の第1の軸の周囲を前記第2の部材に対して弧状に移動可能であり、前記リンクは、ワイヤを受け入れるための、及び前記第1の軸から間隔を開けて置かれ、かつ前記第1の軸と概ね平行な第2の軸の周囲の、前記ワイヤに対する前記リンクの旋回運動を可能にするための、通路を含む、リンクと、を備える、口腔内矯正モジュール。

【請求項2】

前記リンクが、ワイヤの周囲にループを配置するための閉位置と、前記ループ内に前記ワイヤを保持するための閉位置との間を移動可能なアーム付きバネクリップを備える、請求項1に記載の口腔内矯正モジュール。

【請求項3】

口腔内矯正モジュールであって、

第1の部材と、

第2の部材であって、前記第2の部材は、基準軸に沿った方向に前記第1の部材に対して摺動するために前記第1の部材に接続され、前記第2の部材は、前記基準軸に対して概ね垂直の方向に延在する外端部分を含み、前記外端部分はヘッドを含む、第2の部材と、

前記第2の部材をワイヤに接続するためのリンクであって、前記リンクは、前記第2の部材の前記外端部分を受け入れるための少なくとも1つの開口を含み、前記開口は、通常、前記ヘッドとの締まりばめを呈し、前記リンクは、前記開口の拡大を可能にし、かつ前

記ヘッドが前記開口を通過することを可能にするために十分な弾性率を有するエラストマー材で構成される、リンクと、を備える、口腔内矯正モジュール。